

持続可能な
インパクトを
生み出そう

週報Rotary

所沢西ロータリークラブ
RI第2570地区 第3グループ

会 長：木下 精基

副 会 長：鈴木 真澄

幹 事：宮崎 光正

会長エレクト：徳江 和宏

クラブ管理運営委員長：原 紘大

例会場：〒359-1145 埼玉県所沢市山口2942 掬水亭

TEL.04-2925-7111

事務局：〒359-1118 埼玉県所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F

TEL.04-2926-1666

例会日：毎週火曜日(PM12:30~13:30)

FAX.04-2926-5151

E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp

HP <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

4つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

1.点鐘…会長

2.斉唱…ロータリーソング

3.来賓紹介

4.会長・幹事報告

5.委員会報告

第 1805 回 例会 2026・9・8

ニコニコ 39,000 累計 237,000 円

卓 話	例 会 当 番	記 念 祝 福
9/8 企業見学 国会議事堂 赤坂日枝神社	須澤 一男	
9/15 例会取消し		
9/22 例会取消し		
9/29 野藤がバナー補佐訪問	鈴木 公喜	

■出席報告	
月 日	9/7
会員数	40
出席者	30
入会者数	0
退会者数	0

会長の時間

木下 精基



皆さん、本日は前回お話しした、安全と帰属意識を高める会社ロゴ入りヘルメットが現場にもたらす変化についての続きをお話しさせていただきます。

近年、ヘルメットは、カラーやロゴが多く使われています。ある会社では「どうしてこの会社に入たんですか？」と質問してみたら、「ヘルメットのロ

ゴがかっこよかったからです」と答えたというお話がありました。そんな若者に少し羨ましく思います。最近では、オレンジ色のヘルメットが責任者の証として使われております。実際に、鹿島建設や大林組など大手建設会社では、現場ごとに異なるヘルメットをかぶるようにしているそうです。

さらに興味深いのが、地域密着型の中小建設におけるロゴ入りヘルメットの効果が上がってきている事です。地元で顔の見える仕事をしている私たちにとって、会社名が入ったヘルメットは看板にもなります。このように一見単なる会社宣伝のツールに思えるロゴ入りヘルメットは実はこの作業員の帰属意識と安全意識を高める重要な心理的装置とし

て機能を果たしております。最後になりますが、
大手ゼネコンに勤めている 40 代の方は、最初はただの
会社の宣伝効果だと思っていましたが、他者との合
同現場で同じロゴを掲げた仲間を見かけると、不思議
と連帯感が湧いていくようになったそうです。

みなさんも一度ヘルメットかぶってみてください
い。とても気持ちの良いものです。

幹事報告

宮崎 光正

理事会報告

- 🌸 10.11 月の卓話の講師選定について・・・承認
- 🌸 8/25 市内 4 クラブ 合同例会 収支報告
- 🌸 秋のゴルフ大会について・・・10/20（火）
初穂カントリークラブ
- 🌸 9/29（火）野藤がバナー補佐訪問
- 🌸 10/13 がバナー公式訪問
- 🌸 企業訪問・・・9/8 国会議事堂、赤坂日枝神社
- 🌸 10/2・・・西 RC 釣り大会 10 名位予定
- 🌸 会員拡大の状況・・・3 名の例会参加

幹事報告

- 第 55 回ローター研究会 ご案内及び登録取り纏め
のお願い 12/1～12/4 リーガロイヤルホテル大阪
- ハイライトよねやま Vol.317
- 米山梅吉館報 秋号 2026 Vol.48
- 田中久夫 PDG 会委員増強卓話の資料配布について
PDF 版
- 第 17 回日韓親善会議 神戸大会 申込期限変更
のお知らせ・宿泊のご案内
- 2026-27 年度メークアップ Day 登録のお願い
- バギオだより 2026 年 7 月号 Vol.115
- 第 2570 地区ボランティアのご案内 11/1（日）
日本スリーデーマーチ 10kmウォーキング
- 公共イメージ向上委員会 インスタグラム活用セミナー開催
のご案内 10/3（土）ウエスタ川越
- 青少年交換プログラム派遣奨学生「帰国報告会」
（第 2 回オリエンテーション）のご案内 9/20（日）
- 2026-27 年度地区大会 各種表彰・物故会員名
簿 ご報告のお願い

- 地区補助金申請承認のお知らせ
- 第 1 回 第 3G 東 会長幹事会 収支報告書

ニコニコボックス

内田 学

- 木下 精基 セコム（株）所沢支社 支社長 渡邊
庸介様 本日の卓話宜しくお願いま
す。「楽しみです」
- 宮崎 光正 市内 4 クラブ 合同例会皆様の御協力有
難うございました。セコム（株）所沢支社
長 渡邊様 本日卓話宜しく御願ひ致
します。
- 鈴木 真澄 セコム（株）渡邊 庸介支社長様にはお忙
しい中卓話にお出でいただき誠に有
難うございます。
- 木村 孝子 渡邊 庸介様 セコムラグビー部の歴史
卓話楽しみにしております。
- 室伏 秀樹 全回 ズルして休みました。
- 大館 信夫 しばらく欠席してました。
- 高橋 和男 渡邊様 本日宜しくお願ひします。
- 本橋源太郎 渡邊様 本日宜しくお願ひします。
- 徳江 和宏 渡邊様 本日は宜しくお願ひします。
- 和記 毅 本日 宜しくお願ひします。
- 吉田 孝 本日は宜しく御願ひ致します。とても
楽しみにしております。
- 岡川 拓之 理事会欠席申し訳ございませんでした。
- 内野 忍 渡邊様 本日は卓話宜しくお願ひします。
- 金岡 悟 渡邊様 本日の卓話宜しくお願ひいた
します。大坂様、長谷川様、入会をお
考えという事で、本日は楽しんで行っ
てください。

🎵 🎵 今日のソングリーダー 🎵 🎵



社会奉仕委員長 鈴木 伴忠

米山奨学会にご寄付頂
いた和記 毅さんに感
謝状が贈呈されました



朝日さん 会長 本橋（源）さん

お客様紹介 鈴木 真澄副会長



セコム株式会社 西関東本部 所沢支社長 渡辺 庸介様は入社して午前中は会社の仕事をして、

午後はラグビーをする毎日で、セコム株式会社が保有するチーム川越狭山セコムラグッツに所属、40年以上にわたり狭山市を拠点に活動しジャパンラグビーリーグ B2 に所属しセコムで仕事とラグビーを両立している。

みなさまと共に価値を創りだして、全国でも類を見ない事例に、チャレンジしていき、その過程で「集まり」「つながり」、街を元気にするために活躍され、リーグワンに参入するためにスタジアムを狭山に建設中とのことでした。



親睦委員会（釣り担当） 徳江 和宏



10月2日（金）釣り大会がございます。是非皆様の参加を宜しく願います。

会員増強委員長 岡川 拓之



本日、お客様として和ヶ原商店街（株）大坂さんと西所沢で行政書士事務所を経営されている長谷

川先生、そして小手指で弁護士事務所を経営されている近藤先生にお越し頂きました。

職業奉仕委員長

朝日 和久



お世話になります。職業奉仕委員長の朝日でございます。

さて、皆様にご案内いたしました9月8日の企業見学に多くの方にご参加いただきありがとうございます。まだ、枠がございますのでご参加いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

卓話 【セコムラグビー部の歴史と地域への新たな挑戦】

セコム株式会社 所沢支社長

渡邊 庸介様



皆さま、こんにちは。本日は「セコムラグビー部の歴史と地域への新たな挑戦」というテーマでお話させていただきます。私はセコム株式会社 所沢支社長の渡邊庸介です。学生時代からラグビーに打ち込み、セコム入社後は選手として、そしてチームスタッフとして長年ラグビー部に携わってまいりました。

現在の「川越狭山セコムガッツ」はセコム株式会社が保有するラグビーチームです。40年以上にわたり狭山市を拠点として活動し、現在はジャパンラグビーリーグワンのディビジョン2に所属しています。チームの特徴は、多くの日本人選手が社員として仕事と競技を両立し

ていることです。そして「挑戦を楽しみ、利他尊び、社会を元気にする」という理念のもと活動しています。

ラグビー部は1985年に創部されました。その後、各カテゴリで昇格を重ね、2003年にはトップリーグ創設メンバーとなりました。しかし順風満帆ではありませんでした。成績低迷や環境変化の中で、2009年には強化中止が発表され、チーム存続さえ危ぶまれる状況となりました。多くの関係者が落胆する中、それでもチームは決して歩みを止めませんでした。社員選手が仕事とラグビーを両立しながら活動を継続し、地域や会社からの支援を受けて再起を目指したので

す。

転機となったのが2018年です。ラグビー部がセコムのシンボリックチームとして再認定され、再び本格的な強化が進められました。その結果、2024年にリーグワンへの参入が決定し、そして2026年にはディビジョン2への昇格を果たしました。約20年」という長い年月をかけて復活を遂げたことは、諦めず挑戦し続けることの大切さを示していると思います。そして今、私たちは新たな挑戦としてラグビースタジアム建設を進めています。リーグワンでは、ホストゲームを開催できるスタジアムの確保が求められます。そのため2026年12月竣工を目指し、新スタジアムの建設を進めています。約2,500席を備えたスタジアムは、単なる試合会場ではなく、人が集い、交流し、地域の活力を生み出す拠点にしたいと考えています。

近年、全国ではスポーツを核としたまちづくりが注目されています。私たちもこのスタジアムを通じて、スポーツの力で地域を元気にし、新たな価値を創出したいと考えています。まだ道半ばではありますが、全国でも類を見ない挑戦として、「集まる」「つながる」場を皆さまと共につくり上げていきたいと思っています。

ラグビーは一人ではできないスポーツです。仲間を信じ、支え合いながら前進する競技です。その精神は地域づくりにも通じるものがあります。これからも川越狭山セコムガッツは、勝利だけでなく地域への貢献を通じて、埼玉南西部のシンボルとなることを目指してまいります。皆さまのご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

本日はご清聴ありがとうございました。